

## ◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：グラウンドワーク川口

23A-23

代表者：会長 武井 美親

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

見沼田んぼの自然環境を保護・保全しながら、農的文化の伝承を子どもたちに伝え、見沼田んぼの貴重な生き物の生息場所の保護。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

令和2年度は、新型コロナの影響で活動が思うように実施できませんでしたが、小学校・幼稚園がそれぞれ1回ずつ約200人が参加し、自然観察を実施しました。

小学生を対象とした自然教室（延べ305人参加）も数回がコロナにより中止となりましたが、標本づくりや樹名板づくりを実施しました。

樹名板づくりは、木の端材を利用してそれぞれが樹名を書き、QRコードを付けスマートフォンで読み取って木の特徴などを知ったり、コメントを書いたりすることができます。

年6回のイベントですが、よもぎ餅つき（4月）・田植（6月）、クリーンクリーン（3月）は中止となりました。

夜の観察会・稲刈り（10月）・収穫祭&しめ縄づくり（12月）・年間を通して、延べ477人が参加しました。

### 3. 活動の成果

コロナ下で日々の保全活動などは工夫して実施してきました。

毎月、生き物調査を実施し、データを記録し、今後の活動等自然観察や環境の保全・保護に活かして行きたいと考えています。

### 4. 今後に残された課題

コロナ下でエリア内の不法投棄が目立ちました。不法投棄を無くすためにどう広報していくか？

スタッフの高齢化に伴い作業の省力化とスタッフの増員の施策を考えること。

保全、整備に関してスタッフ全員への意思統一。



自然観察の様子



収穫祭のしめ縄づくり



子どもが製作した樹名板